三里塚農民と連帯し強制代執行を粉砕せよ!!

杉並区民のみなさん

三月二十三日からの三里塚農民に対する、強制代執行は一日一日はげしさを増しています。政府・公団は人身事故は起さないなどと言いつつも、連日、多数のけが人がでています。そして、執行は中止することはできないなどと、強気一本ヤリです。

にもかかわらず、三里塚農民と支援の学生、労働者の断固とした収用粉砕斗争の前に、実質的には一歩として執行は進んでいません。

わたしたちはあくまで農民の空港反対の立場を支持します。

なぜなら、反対同盟の叫びがはっきりと語っていますように、政府は一体農民自体を頭に入れた政策をとってきたことがあるでしょうか。農民切り捨て政策にみられるような、総合農政は、まさに、農民と労働者に一層の負担をかけつつ、ブルジョアジーの利益をゴウきしようとしているにすぎません。

また、六九年の佐藤・ニクソンによってとりかわされた日米共同声明はアメリカ帝国主義のアジア侵略の破綻を、日本帝国主義が肩がわりし、経済的・軍事的アジアでの盟主たらんことを宣言しました。

そのためには、まず、国内における労働者の生活を守る斗いを圧殺し、資本と手を結ぶ労働運動を強用する必要があります。そして、オートメーション化された大工場や、重化学工業に必要な水や土地、そして港を自由きままに使用するようにするでしょうし、多少なりとも現在そのようにやっています。

さらにまた、これらを貫徹するためには、労働者人民(当然農民も含みます)を徹底的に管理する必要があるのです。それが「総背番号制」にほかなりません。

こうした、政府の反人民的政策とブルジョアジーのための政策に反対する限り、三里塚空港の建設に反対せざるを得ません。

そしてまた、政府の七〇年代戦略に反対するだけでなく、個別三里塚空港それだけをみても、騒音処理が皆無であったり、農民とのこんしんな対話の欠じょなど、なに一つとっても、農民を中心とした計画がなされていません。

にもかかわらず、この段階でガードマンを完全武装させ、機動隊を前面に出した土地収用は、なおさらゆるせません。

杉並区民のみなさん

今や、三里塚への具体的な連帯と支援が必要な時です。

一日一日と強まる攻撃に対して、断固とした三里塚農民とともに闘おうではありませんか。

- 帝国主義ブルジョア政府打倒!!
- プロレタリア統一戦線の一翼としての三里塚闘争に勝利せよ!!

反安保杉並行動委